

# 令和7年度

## 第3期

### 篠栗町まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗現況報告

令和8年2月26日

篠栗町	人口
令和8年2月	31,255人
令和7年2月	31,270人

# 基本目標 1

出産・子育ての希望をかなえる

## 数値目標

目標項目	目標値（令和11年度）
中学生までの子どもの数	4,200人

令和8年1月31日現在 **4,273人**

年齢	総合計	0から4歳	5から9歳	10から14歳
令和8年2月	<b>4,273人</b>	1,250人	1,479人	1,544人
令和7年2月	<b>4,377人</b>	1,287人	1,515人	1,575人

# ICT（情報通信技術）を活用した子育て支援

## 施策内容

電子母子健康手帳の導入により、妊娠期から出産、子育てまでの全てのライフステージに合わせた、切れ目のない支援を行う

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
電子母子健康手帳の発行率	80%	 58%

### 現状

令和7年度から新規に母子健康手帳を発行した人全員に登録を勧奨できた。

その他、1歳6か月児健診、3歳児健診において、本アプリの電子問診表を利用しているため、受診対象者の登録者が増加した。

### 課題

特定の対象者にしか、母子健康手帳アプリ登録が浸透していない。アプリ機能の充実が必要。

### 対策

アプリ機能の充実を図るため、各種乳幼児健診の電子問診表やアンケートの電子申請の導入を検討。SNSや乳幼児健診等でのアプリの周知啓発を図る

# 放課後児童クラブの拡充

## 施策内容

放課後児童クラブを整備し、受け入れ可能数を拡大する

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
放課後児童クラブの待機児童数	0人	0人

### 現状

令和7年4月1日に「たけのこ児童クラブ」を開館。  
待機児童数0人を維持できている。

# こどもの居場所づくり

## 施策内容

「こどもの居場所」の各校区への設置

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
こどもの居場所設置か所数	3か所	<b>1か所</b>

### 現状

「フリースペースSHIN」が、令和7年8月20日「くすのきベースSHIN」として拠点新築のうえ移転。それにより全体的な利用者は増加している。

### 課題

新たな拠点を設置するにあたり、事業の担い手が不足している。

### 対策

講演会などの実施により、担い手確保に努める。

# 教育環境の健全化

## 施策内容

### 校務支援システムの導入を行う

#### 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
校務支援システムの導入	導入	<b>導入済</b>

#### 現状

令和7年度、町内の全小中学校において教職員の働き方改革と業務効率化を推進し、教育の質の向上と魅力ある町づくりを図るため、県内で統一されたシステムを導入した。導入したシステムには、「名簿管理」「出席管理」「成績管理」「指導要録作成」などの機能が備わっている。

#### 課題

通常業務で多忙を極める教職員に対し、新システムの操作方法を周知することが最大の課題となっている。また、各種様式が現行のものと異なるため、様式の見直しや変更への対応も課題として挙げられる。

#### 対策

近隣自治体の先行事例を参考に、教職員が短時間で操作を習得できる研修体制を整備するとともに、オンライン研修や動画マニュアルの活用を進める。さらに、校内のICT支援員やキーパーソンを育成し、日常的に相談できるサポート体制を構築することで、教職員の負担を軽減しながら新システムの定着と円滑な運用を図る。

## 多様な保育の充実（医療的ケア児）

### 施策内容

医療的ケア児の受入対応可能な園を町内に設け、多様な保育の充実を図る

### 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
（医療的ケア児） 受入対応可能園	1園	 1園

### 現状

令和7年4月1日より「篠栗どろんこ保育園」にて医療的ケア児受入開始した。今後も必要に応じて受け入れを行っていきけるよう保育の充実を図る。

## 基本目標2 活力ある地域社会をつくる

### 数値目標

目標項目	目標値（令和11年度）
健康寿命（平均自立期間）の延伸	男性81.4歳 女性86.1歳

令和7年度  
男性80.3歳  
女性86.2歳

# 介護に頼らない元気な高齢者の増加

## 施策内容

介護予防事業のさらなる充実と地域の活動や連携の強化

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
地域介護予防事業の充実	(要介護（要支援）認定率) 17%	<b>15.35%</b> (令和7年12月末)

### 現状

介護予防を目的に、筋力や認知機能の維持及び低下防止に効果のある各種教室を実施。次年度（令和8年度）からは、すべての教室を通年実施に変更。これにより、介護予防効果の更なる向上が期待される。また、住民主体の介護予防活動である自主グループ教室についても、今年度新たに立ち上がり2つとなった。今後も住民（地域）主体の活動推進を支援する。

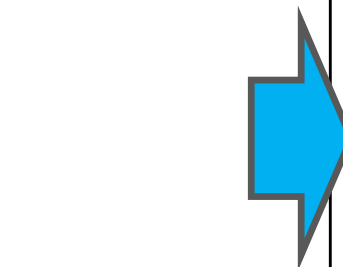
# 健康づくりの促進

## 施策内容

町民一人ひとりが健康づくりに関心をもってライフスタイルを送れるような取り組みを実施。生涯を通してスポーツに親しめる環境づくりを行う

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
①健康ブース設置	① 5回／年	① 4回／年
②健康ポイント事業への参加者	② 2,200人	② 1,566人
③生涯スポーツイベント参加者	③ 5,000人	③ 6,000人



### 現状

①文化祭、ささリンピック、篠っ子ふれあいコミュニティフェスタと健診フェスタで計4回イベントにおける健康ブースを設置②町独自のイベント『目指せ！健康長寿！ささぐり（キャンペーン）』を年2回実施したほか、町広報などの機会を活用し登録者が増加。③ささリンピック・少年スポーツ大会などのほか、スポーツに親しめる環境づくりを実施

### 対策


①健康づくり推進員や企業と協力しながら啓発活動を継続②アプリ内で貯まったポイントを消費できる協賛店を町内に増やす③引き続きスポーツイベントの開催（支援）、スポーツに親しめる環境づくりを通じてイベント参加者、施設利用者等の増加を図る。

# 出前講座の拡充

## 施策内容

地域での活動を支援し、介護予防を図るために、出前講座の実施回数を増やす

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
「出前講座」の実施回数	63回／年 (21行政区×3回)	 <b>76件/年</b>

### 現状

出前講座は、「介護予防」を目的とし、地域で自主的に介護予防活動をしている団体等に講師を派遣することで、住民が、住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けられるよう実施。今年度は新しい講座の追加等により、利用申込件数が増加。

### 課題


講座登録に関し、介護予防との関係性が薄かったり、営利目的と疑われるケースがあるため注意が必要。

# デジタルデバイス（情報格差）の解消

## 施策内容

情報格差を解消するため、スマホ相談（講座等）を実施

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
高齢者向けスマホ相談（講座等）の実施回数	12回／年	 <b>13回</b>

### 現状

オアシス篠栗での介護予防事業「元気もんラボ」において、スマホ相談イベントを実施。担当課職員が行う「お気軽スマホ相談」と、健康、福祉分野で包括連携協定を結んでいる福岡工業大学工学部学生との共同実施する「大学生とスマホで遊ぼう」がある。利用者からは、無料で、予約無しで、気軽に利用できるため大変好評を得ている。（利用人数実績：R6年度が106人、R7年度が137人。）

### 課題

専門スタッフではない職員や大学生が対応しているため、相談内容によっては要望に応えられない場合がある。また、利用希望者数に対し、対応職員が2～3人と少ないため、職員の負担が大きい。

# 地域防災力の強化

## 施策内容

防災講座や訓練を行うことで地域防災力の強化を図る

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
行政区自主防災組織の 防災講座・訓練回数	21回／年 (21行政区)	 9回／年

### 現状

令和7年度9回  
福祉課主催元気もんラボ防災研修・尾仲区防災講座・篠栗北中88タイム防災支援・篠栗北中88タイム防災支援(日赤研修の振返り)・町主催の防災士研修・女性消防隊講座支援・篠栗小観月会防災説明・田中区防災講座・青健推篠栗校区研修

### 課題

行政区での防災士活動が増えない状況

### 対策

各種団体への周知を増やしていくとともに、SNSを活用した積極的な情報発信を行っていく。

## 基本目標3 安定した雇用を創出する

### 数値目標

目標項目	目標値（令和11年度）
新規雇用者数の増加	350人

**令和7年度 222人**

北地区産業団地の雇用創出、篠栗西地区沿道サービス誘致促進による新規雇用者数増を目指す

# 篠栗北地区産業団地の雇用創出

## 施策内容

企業誘致により新たな雇用機会を創出する

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
産業団地への企業誘致による 新規雇用者数	250人	 84人

### 現状

事業用地6区画のうち、3事業者のみの稼働となっており、新規雇用が84人とどまっている。

### 課題

産業団地の開発時は事業用地6区画において、各事業者が同時期もしくはそれに近い時期で段階的な稼働を予定していたが、新型コロナウイルス等の影響で各社進出時期の足並みが揃わず、目標値に至っていない。

### 対策

進出3事業者へ更なる雇用創出を促すとともに、残る3区画へ早期の建設着手及び稼働に向けた要請を行う。

# 篠栗西地区沿道サービス誘致促進

## 施策内容

篠栗西地区の国道201号に沿道サービスを誘致し、雇用の促進を図ると共に周辺地域の利便性を高めることを推進

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
沿道サービス誘致による 新規雇用者数	100人	 <b>138人</b>

### 現状

当該沿線地域（和田地区）において土地区画整理組合による商用地域及び居住・医療ゾーンの開発事業がR7年3月に完成し、居住ゾーンについては、造成及び住宅建築完了した。また現在、津波黒地区において物流倉庫が建築中であり、完成後は新たな雇用が見込まれる。

# 町有林及び林道の継続的整備

## 施策内容

町有林及び林道の一体的な整備を行い、林業の発展と町内在住の林業従事者の維持を図る

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
①林業従事者の維持	①林業従事者7人	①6人
②町有林施業面積 （間伐等）	②15ha／年（平均）	②20.75ha

### 現状

森林の持続可能な経営の実施推進、荒廃した森林を回復するとともに、森林施業事業による安定した雇用を創出。高齢化や担い手不足が課題。造林補助金等各府補助金の利用して積極的な森林施業を実施。林道や森林沿いの道が、町民の憩いの場として利用する際の重要なアクセスとして活用できるよう検討しながら施業している。

### 対策

森林組合等関係機関と連携し、新規就業者の確保や技術継承に向けた研修・支援。ICTや高性能林業機械の活用を検討し、安全性と効率性を両立したせぎょうの標準化を進める。

# 有機野菜による「もうかる農業」の推進

## 施策内容

有機農業の実践により、農作物の付加価値を高めるとともに、学校給食などでの利用をはじめとする地産地消による地域内循環を確立することで、強い経営基盤に支えられた農業従事者の増加を図る

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
①有機農業による新規農業従事者	①新規従事者 5人	① 1人
②有機農業実施面積	②2.5ha／年平均	② 1.2ha
③有機農業実施品目	③ 3品目	③ 6品目

### 現状

篠栗町の有機農業を推進する「ささぐりの食と農を考える協議会」が中心となり、有機農業研修会や講演会、野菜販売会など開催し、新規農業者の獲得、有機農業のPRを図っている。また、地域おこし協力隊（有機農業推進）も導入し、試験栽培を行っている。

### 対策

補助金や融資などの経済的支援を検討するとともに「ささぐりの食と農を考える協議会」を中心に、研修制度や指導体制の整備、技術習得を支援する。農地のマッチング推進や学校給食など安定した販路の確保、地域内でのネットワークづくりを進めることが、新規就農者の参入と定着につながる。

# 「創業塾」参加者数

## 施策内容

商工会や近隣自治体とともに開催する「創業塾」への参加を促し、起業者が安定的な事業経営ができる環境整備を図る

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
「創業塾」参加者数	10人／年	 <b>11人</b>

### 現状

年2回開催。受講者は商工会の個別指導を受け、事業計画を策定した後、町の証明を受けると登録免許税の軽減などのメリットを受ける。

### 課題

本年度は、開催地であった前年度と比較すると申込者数・実受講者数ともに減少した。また、2日のうち1日のみの受講となる人もいるため、終了証授与までいかない場合がある。

### 対策

告知活動の工夫や、参加者の関心に沿ったテーマを設定することで、創業への具体的な一歩を踏み出しやすい環境を整える。

## 基本目標4 新しい人の流れを創る

### 数値目標

目標項目	目標値（令和11年度）
転入人口の増加	転入人口1,500人

**令和7年度 転入人口1,189人  
(4/1~2/10)**

# 町の知名度及びイメージアップ

## 施策内容

ふるさと観光大使、地域おこし協力隊による情報発信の強化、PR動画作成により国内外へ篠栗町の魅力を発信する

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
① SNSを活用した情報発信件数	① 500件／年	① <b>1,108件</b>
② 町公式PR動画作成本数	② 2本／年	② <b>6本</b>

### 現状

町の事業者や観光地、イベント情報等、地域おこし協力隊SNSを通じて随時PRを行っている。また、インスタグラムやFacebook、TikTokを活用し、町の観光資源を利用したイベントの周知を図っている。

ふるさと納税返礼品を中心に紹介動画を発信している。

(森林セラピー・お寺体験・やまや漬け込み体験・やきやま紹介動画)

# 観光協会等と協力したイベントの参加

## 施策内容

篠栗町観光協会、商工会等と協力しながら、町内外の各種イベントに積極的に参加し、広くPR活動を実施

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
観光協会等と協力した幅広いイベントへの参加回数	7回／年	8回

### 現状

春らんまんハイキングやアビスパ福岡応援デー、ライジンゼファー応援デー、町村フェア等、定期的にイベントへの出店や福銀ロビー展などのパネル展を行っている。

### 課題

出店やパネル展示効果が、イベントや行事自体の集客力によるところが大きい。

### 対策

効果測定としてはイベントや行事によるところが大きいですが、町内外大小問わず今後も町観光協会や商工会と連携、協議し、PRの場を更に増やすことを目指す。

# DXの推進による住みやすいまちづくり

## 施策内容

DXの一環として行政手続きの簡略化に取り組み、オンライン化や税金及び使用料等のキャッシュレス化を推進

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
行政手続きの オンライン化件数	10件／年	<b>1件</b>

### 現状

LoGoフォーム手続き管理公開件数31件＋福祉課・健康課・社会教育課イベント関係に、令和7年度は就学援助申請を加えた。LoGoフォームの利用方法説明会をおこない、質問等を受け付け、利用に係る支援を随時行った。

### 課題

行政事務の手続きの増加が少なく、令和7年度は1件となっている。（前年度までに34件をオンライン化）

### 対策

今後も研修及び支援を行い、さらなる利用の拡大を目指す。

# 住環境の整備

## 施策内容

管理不良状態の空き家等を解消するため、空き家の所有者等に対して空き家情報に関する周知啓発を行う。また、民間事業者等と協働し、空き家の維持管理を代行するサービスの利用を促す。

## 主要業績評価指標

指標項目	目標値（令和11年度）	令和7年度
管理不良状態の空き家等の解消軒数	10軒（延べ）	<b>11軒</b>

### 現状

令和7年度に11軒を解消（解体・撤去等）

取組内容

- ・ 空き家の所有者、管理者、法定相続人（以下「所有者等」という。）の調査
- ・ 所有者等への指導文書の送付、電話による指導
- ・ 空き家の注意喚起のチラシの作成及び送付
- ・ 空き家相談会、セミナーの開催
- ・ 空き家を管理してくれる事業者の紹介（篠栗町空家等管理事業者紹介制度）